

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	産業功労者表彰事業	コード	担当課係	商工観光課労政係
事業実施期間	S46~	04-02-05-03	担当者	難波巧
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	電話	0869-64-1832
	中項目	起業と創造が支えるまちづくり		
	小項目	勤労者福祉		
	施策	福利厚生の充実		

事業について	
目的	市の産業発展に寄与し、市民の模範となる者についてその功績を表彰し、もって市の産業を一層伸展させる
対象 (誰のために)	市内商工業等各種産業に永年従事する者
内容	市内商工業等各種産業に永年従事し、市民の模範となる者についてその功績を表彰する。

事業の結果											
実施項目											
17年度											
回数など (単位)											
被表彰者数	31 人			回数など (単位)				回数など (単位)			
事業費 (単位:千円)											
事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
直接事業費	264	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
人件費	1,130	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債				市債	
合計	1,394	一般財源等	1,394	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0
必要人員	0.13 人			必要人員	0.13 人			必要人員	0.13 人		
結果指標①	結果指標名										
	被表彰者数										
	結果指標量										
	31										
	単位										
	人										
	対前年比										
	—										
	対前年比										
	0.00%										
	事業費										
	1,394,000 円										
	単位当たりコスト①										
	44,968 円										
結果指標②	結果指標名										
	被表彰者数										
	結果指標量										
	31										
	単位										
	人										
	対前年比										
	—										
	事業費										
	1,394,000 円										
	単位当たりコスト②										
	44,968 円										

事業の成果			
成果指標名	被表彰者数	式又は説明	産業功労者表彰(市長表彰)を受けた者
17年度			
成果指標量	31		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	50	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価		評価区分
コメント	産業功労者表彰は、労働者の勤労意欲の向上を促し、産業発展のため必要な事業である。年度により被表彰者が増減するが、今後も事業継続に努める。	<A~E>
		C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度 結果指標量①	50(人)
結果指標量②	50(人)

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

市の産業発展に寄与し、市民の模範となる者についてその功績を表彰することにより、市の産業を一層伸展させることは重要で妥当である。

他団体の永年勤続功労者表彰と合同で表彰式を実施するなど、コスト削減、効率性の向上に努めて事業実施している。

被表彰者は年度により増減するが有効な事業実施が行われている。